

野原はうたう 工藤直子

一 教科書14ページ〜17ページの四編の詩を声に出して読んでみよう。三回ずつ読み、○をつけよう)

	一回目	二回目	三回目
あしたこそ			
おれはかまきり			
あきのひ			
いのち			

二 気に入った詩を一つ選び、どんなところが気に入ったのかを書こう。

気に入った詩↓

あしたこそ

気に入った理由

記入例 **自分がとらえた特徴を入れて理由を書けるとよい**

「ひかりをのびにうへへうひけて」「はなひらへひをゆめ」みて」と舞い上がるたんぽぽの綿毛になりきって、自分の夢や希望を重ねて表現しているのが面白い。
 ・将来、たんぽぽの花がたくさんの日の光を浴びるじゅじゅ、これからのたくさんの出会いを重ねて「じゅじゅは」「じゅじゅは」であつたため」と表現しているじゅじゅが、言葉の使い方が見事だと思ふ。

三 気に入った詩を、教科書18ページ「音読するときには」の読み方に注意して読み、気付いた読み方の工夫を書こう。

ア 強く読んだ方がよいと思う所を抜き出そう。

例 **とんでうじうじ** **じいぢぢぢも** 「倒置法が使っているじいぢぢぢを強く読む」のよう

選んだ根拠が明確であるじいぢぢぢ

イ 弱く読んだ方がよいと思う所を抜き出そう。

ウ その他、工夫した方がよいと思う読み方を書こう。

例 **最初の二行と次の二行は同じ読み方で読む** **対になっている表現**

「あした」と「たくさんの」の間「間をとる **改行してある、願いを際立たせる**

四 “三”で考えた音読の方法で工夫して読むことができたかを評価しよう。

〈評価する方法の例〉「録音して聞く」「自分の声を聴きながら読む」「家族に聞いてもらう」等

自分の評価

〈評価…A よくできた B だいたいできた C できなかった〉

花曇りの向こう 瀬尾まひり

一 教科書26ページから32ページを音読し、「登場人物の気持ちの変化が最も表れている」と思う一文を選び、その理由も書こう。

- 選んだ一文↓「例 ……えっと、明日の野外学習じゃ、持って行くのかな」
- その理由

友達とつまかわれていないことと悩み、自分の素直な気持ちを出すことができなかった。「僕」が、初めて自分の気持ちで行動するところができたから。

二 一行あいているところを探し、場面ごとに教科書に数字を書きましよう。

- 【ヒント】
- | | | | | | |
|------|---|--------------|------|---|------------|
| 第一場面 | 1 | 「なんや、・・・」 | 第二場面 | 2 | 「おはよ。・・・」 |
| 第三場面 | 3 | 「こっちこっち、・・・」 | 第四場面 | 4 | 「いいねえ、・・・」 |

三 四つの場面の、それぞれの“時”“場所”“登場人物”を表に整理した次の表のあいているところをうめて完成させよう。
 本文中の言葉や挿絵から使った言葉で書くように

場面	時	場所	登場人物
第一場面	朝（登校前）	ばあちゃんの家・自宅	僕（明生）・ばあちゃん
第二場面	朝（登校後）	教室	僕・川口君
第三場面	体育の時間	体育館	級友たち・僕・山崎君
第四場面	放課後	ばあちゃんの家・自宅 ----- （小さな）駄菓子屋	僕・ばあちゃん ----- 僕・おじいさん・川口君

四 辞書やインターネットを使って意味を調べよう。

ページ	調べる言葉	調べた内容
27	通算（つうさん）	
28	持て余す（もてあます）	
28	か細い（かほそい）	
28	はやる（はやる）	
29	やり過ぎす（やりすぎす）	
30	たどたどしい（たどたどしい）	
31	とどこおる（とどこおる）	

花曇りの向こう 瀬尾まひり

一 四つの場面ごとの、「僕」の気持ちの変化についてまとめた次の表のあいているところをうめて完成させよう。
その場面での「僕」の気持ちが具体的に書けていればよい

場面	様子・行動・会話	「僕」の気持ち
第一場面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「胃が痛いんだ。」とおなかを押さえて… ○ …簡単にいくわけないだろ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 転校することに気が重く、やる気が起きない。 ○ 例 友達がうまくできないところを見るいらだちの気持ち。
第二場面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「おはよ。」とつぶやきながら教室に… ○ 今日も生ぬるい息をはいた。 ○ 俊敏に体を動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ やれるだけやってみよう。 ○ 重苦しくうんざりとした気持ち。
第三場面	<ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいを定めて、するどいボールを送った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例 活躍するチャンス、仲間とゴールを決めることが出来る。仲間の一員になれる。等
第四場面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「別に行きたくないけど…」 ○ みんながいるかもしれないから…反対方向の… ○ とどこおりそうな空気をふっ切るように、お菓子をかごに入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例 友達がいらない、楽しみにしていない ○ 気を遣うからみんなに会いたくない。 ○ 例 不安な気持ちをぶっつける行動、前向きな気持ちへ変わった。

二 第一場面で、「気が重そうな顔」をしていた「僕」が、最後に「あまずっぱい梅干し」をもつて歩いていた時の気持ちを想像して書こう。

例

初めは転校することに気が重かった「僕」だが、ぎこちない関係だった川口君と「梅干しのお菓子」が好きという共通点があることを知り、新しい学校で新しい仲間と前向きに生活していくと思うようになった。

漢字を確認しよう。

○ 新出漢字と読みがなを五回ずついいねいに練習しよう。(書き順は教科書296ページを見て覚え
る)

煎茶 せんちゃ	墨絵 すみえ	地殻 ちかく	斬新 ざんしん	奇異 きい	税込み ぜいこみ	歩幅 ほはば	勧告 かんこく	華道 かどう	揚げ物 あものもの	紹介 しょうかい

(教科書34ページ・新しく習った漢字)

1 次の——線部の言葉を読もう。【漢字の読み】

- ①
- ア 汁粉と煎茶をいただく。 [じゆふ]
- イ 墨汁を買いに行く。 [ぼくじゆ]
- ②
- ア せみの抜け殻を集める。 [ぬけがら]
- イ 斬新で奇抜な意見だ。 [きばつ]
- ③
- ア 銀行で料金を振り込む。 [ふりこむ]
- イ 感情の振幅が大きい。 [しんぷく]

漢字を確認しよう。

(教科書34ページ新しく習った漢字)

2 次の□に合う漢字をへ、△から選ぼう。【同じ音読みの漢字】

① カン△歓△勸△ ア 勸 告 イ 歓 喜

② カ△華△菓△ ア 華 美 イ 茶 菓

③ ヨウ△揚△陽△ ア 抑 揚 イ 陽 気

④ ショウ△紹△招△ ア 招 待 イ 紹 介

(教科書34ページ小学校で習った漢字)

1 次の——線部の言葉を漢字で書こう。(必要ならば送り仮名を書こう。)

① こんなんに打ち勝つ。 「 困難 」

② てらん会に出品する。 「 展覧 」

③ ふくつうで欠席する。 「 腹痛 」

④ 季節外れの雪がふる。 「 降る 」

⑤ ふとんをほす。 「 干す 」

2 次の□に○の部分をもつ漢字を書こう。【同じ部分をもつ漢字】

① かん かん ア 簡 単に見つかる。

イ 政 策 を調べる。

ア 南極を 探 検する。

② き き イ 力を発 揮 する。